

は じ め に

食生活をめぐる状況や社会経済構造の変化による日常のライフスタイルの多様化が、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や痩身、生活習慣病の増加、伝統的食文化の危機を招いています。また、保護者も子どもも日々忙しい毎日を過ごしている中で、食やその大切さに対する意識が希薄になってきています。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において食育を推進することが喫緊の課題となっています。

そのような中で、本県では、岡山県教育振興基本計画において、「学校教育活動全体を通じた食育の推進」を重点施策として、栄養教諭の配置促進や学校給食における地場産物の活用割合の向上、朝食を食べる子どもの割合を向上させるなどに取り組んでいるところです。また、国の第2次食育推進基本計画では、家族と一緒に食べる「共食」の推進が挙げられており、家庭の役割はますます重要となっております。本事業では、『栄養教諭を中心に行う食育推進の取組を支援することによって、児童生徒に効果的な食に関する指導を実践し、子どもの健康の保持増進をはじめとする食育の一層の充実を図ること』を目的として取り組んでいます。

今年度の実践地域である矢掛町は、明治44年に岡山県内で、はじめて学校給食が開始され、去年は100周年を迎えられるなど、学校給食に歴史のある地域です。平成22年度より「矢掛町食育推進アクションプログラム」に基づき、ライフステージ毎に目標を定め、町として独自に取組をされるなど、学校における食育について、意識の高い地域で食習慣を含めた生活習慣や朝食摂取状況の改善等、課題解決に向け学校・家庭・地域が一体となり取組を進めてこられました。

さらに、今年度は、特別支援学校での食育を推進するために、新たに県立誕生寺支援学校において、障害のある児童生徒への食育について取り組んでいただきました。

各学校においては、貴重な実践活動を参考とされ、学校・家庭・地域が一体となった食育の推進に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業の実施にあたりましては、岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 川上貴代先生に、データ解析をいただき貴重な資料を御提供いただくとともに、中核となる栄養教諭に等に対しまして、的確な御指導・御助言を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、矢掛町教育委員会、岡山県立誕生寺支援学校等関係者の皆様におかれましては、本研究に誠心誠意お取組をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後益々の御発展をお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。

平成25年2月

岡山県教育庁保健体育課
課 長 前 田 潔